

資料 3

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議
(第3回)

2023年3月14日(火) 10:00-11:30

学校施設整備に係る現状の取組等について

新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業について

新しい時代の学びに対応した学校施設の整備モデルを構築するため、学校設置者による基本計画等の策定、計画・設計プロセスの支援を実施するもの。2～3件を実施予定。

公募対象 (1) 国公立の小中学校の設置者、(2) 特定非営利活動法人、民間企業等が学校設置者と連携して実施

公募期間 2023年(令和5年)3月8日～3月29日

事業期間 2023年(令和5年)5月～2024年(令和6年)3月

成果物 他の学校設置者の参考となるよう、新しい時代の学びに対応した学校施設の基本計画及びその検討経緯をまとめたもの

過去2年間の実施事業のポイント

○千葉県市川市(令和3年度実施)

- ・「自分に適した学習スタイルを選択できる学校づくり」、「脱炭素化された施設を体感し、生きた環境学習が行える学校づくり」をテーマに挙げる。
- ・オープンスペースと結び付けた学習空間を検討。図書室は周囲の特別教室を関連付けてメディアセンターを計画。

○福岡県築上町(令和3年度実施)

- ・「小中学校と地域コミュニティ体型校の施設整備」をテーマに挙げる。
- ・小学校は学年ごとの教室配置にまとまりをもたせた「学年ユニット」を基本単位とし、多様な学習方法や発表の場を確保するとともに交流や関わり合いを意図した計画。
- ・中学校は全教科に専用のラーニングスペースを設け、教科センター方式を採用。教科毎の専門性や特色を生かすため教科ユニットを検討。
- ・「社会教育施設を学校に開放する」という視点で複合化を検討。

○東京大学(令和3年度実施)

- ・「附属学校独自の教育カリキュラムに対応した学習空間の整備」をテーマに挙げる。
- ・探求協働による学習活動に適した普通教室、図書館を核にしたラーニングコモンズによる探求空間、空間ユーザインターフェイスを備えた空間等の導入を検討。
- ・普通教室にも豊富な板書面・映写面のほか、明るく風通しの良いリフレッシュ空間等、現代的な授業運営のできる空間を検討。
- ・教職員コモンズとして、フリーアドレス制を含む、多様な教職員同士のコミュニケーションを誘発する空間を検討。

○長野県小諸市(令和3年度実施)

- ・詳細な児童生徒推計を分析することで市内における各学校施設の再編時期を検討。コスト分析も踏まえ、複数の計画案を比較し計画案を作成。
- ・小中連携をはじめ異なる学年間でのつながりや交流機能のほか、地域共同スペースを検討。
- ・カリキュラムマネジメント等の打合せスペースなど小中教職員同士のコミュニケーションの場も検討。

○北海道中頓別町(令和4年度実施)

- ・小中学校の一体的な教育の実現及び町民センター(社会教育施設)との複合化を通じて、地域の中核拠点となる学校施設の整備を目指す。

○和歌山県串本町(令和4年度実施)

- ・南海トラフ地震を想定した高台移転を実施し、地域における防災拠点として計画するとともに、学びの空間の多様化(コモンズ)や地域開放を念頭においた施設計画を検討。

公立小中学校等施設のバリアフリー化に関する国の更なる取組について

- 文部科学省ウェブサイト中に **「学校施設のバリアフリー化の推進」の特設ページを開設。**

特設ページでは以下の内容を公表

学校施設のバリアフリー化の検討や実施のほか
部局間の連携や学校関係者の機運醸成等のため
にご活用ください。

- ・ バリアフリー化に関する調査研究・事例集
- ・ 整備目標・実態調査
- ・ これまでの通知・事務連絡等
- ・ 国庫補助制度
- ・ 広報資料（ポスター、チラシ）
- ・ 相談窓口

掲載URL

https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/seibi/mext_00003.html



また、整備計画の策定状況やバリアフリー化の状況のフォローアップを継続的に実施する予定

既存施設を含めた学校施設のバリアフリー化が着実かつ迅速に進められるよう、部局間の連携を含め、積極的な取組にご協力をお願いします

学校施設における木材利用（公立学校施設における木材利用進捗状況）

1. 新しく建築された木造施設の整備状況及び非木造施設の内装木質化の状況

令和3年度に新しく建築された全ての学校施設**690棟のうち、520棟（75.4%）**が木材を使用。

※ 木材の利用状況調査より
 ※ 公立の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の計

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|--------------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 全施設数 | 823 | 805 | 690 |
| うち木造施設数① (木造施設数/全施設数) | 186 (22.6%) | 154 (19.1%) | 125 (18.1%) |
| うち非木造施設数 | 637 | 651 | 565 |
| うち内装木質化数② (内装木質化数/全施設数) | 322 (39.1%) | 441 (54.8%) | 395 (57.2%) |
| 木材を使用した施設数①+② (内装木質化数/全施設数) | 508 (61.7%) | 595 (73.9%) | 520 (75.4%) |

2. 新しく建築された学校と木材を使用して改修された学校の木材使用量

令和3年度に整備された学校施設では、**48,185m³**の木材を使用。うち、**13,818m³（28.7%）**が木造施設で、**34,367m³（71.3%）**が非木造施設の内装木質化等において使用された。

※ 木材の利用状況調査より
 ※ 公立の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の計
 ※ 数値は、単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合がある

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 全施設木材使用量 | 44,978 | 39,572 | 48,185 |
| うち国産材 (国産材率) | 28,194 (62.7%) | 23,442 (59.2%) | 27,527 (57.1%) |
| うち木造施設 | 17,510 | 14,240 | 13,818 |
| うち国産材 (国産材率) | 14,433 (82.4%) | 10,364 (72.8%) | 11,219 (81.2%) |
| うち非木造施設 (内装等に木材を使用) | 27,468 | 25,332 | 34,367 |
| うち国産材 (国産材率) | 13,761 (50.1%) | 13,078 (51.6%) | 16,309 (47.1%) |

参考 全木造施設数

- 全学校施設数：366,167棟
- うち木造施設数：31,904棟（8.7%）

※公立学校施設実態調査より（令和3年5月1日時点）
 ※公立の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の計